

年4月から職員を派遣し、開催に向けた準備に積極的に協力するとともに、大阪府と大阪市が合同設置した万博推進局と連携し、SNSを活用した他の自治体との同時情報発信や、観光情報コーナーにおけるPR動画の放映など、機運醸成に向け取り組んできました。

将棋のまち高槻の推進 今後の取り組みは

議員 将棋振興自治体が一堂に会する全国将棋サミットの開催と、将棋のまち高槻の更なる推進の今後の取り組みについて伺います。

市長 全国将棋サミットの開催については、市制施行80周年記念事業として誘致を進めてきた結果、本年10月28日に高槻城公園芸術文化劇場で開催する運びとなりました。翌日には安満遺跡公園で、たかつき将棋まつりの開催も控えていることから、この両日は将棋のまち高槻を全国にPRす



▲全国将棋サミットの開催が予定される高槻城公園芸術文化劇場

る絶好の機会であり、イベントの成功に向けて注力していきます。

また、日本将棋連盟の拠点である関西将棋会館が令和6年に本市に移転する予定となっております。今後も引き続き、将棋の聖地を有する自治体の責務として、日本将棋連盟との緊密な連携の下、将棋の普及と発展に取り組むことで、将棋のまち高槻の存在感を高めていきます。

自民・無所属議員団

歴史や文化を大切にし 高槻の魅力をさらに 高める市政運営を

岩 為俊 金森 雅樹 こうのきよし
中村 明子 ※平田 裕也 真鍋宗一郎
※は発言者

学童保育 課題と今後の取り組みは

議員 学童保育を利用しやすい環境づくりに向けて取り組んでいます。学童保育事業における現在の課題と今後の取り組みは。

市長 一部地域で発生している待機児童への対応と、高学年児童の受け皿確保が課題です。その対応として、民間学童保育室の設置促進をしていますが、更なる対応が求められています。今後は、市立学童保育室では、引き続き、臨時定員

を設定し入室希望者を受け入れ、民間学童保育室は、未設置の中学校区などへの設置促進に取り組めます。あわせて、質の確保に向け、運営事業費補助金を交付している民間学童保育室に対して、立ち入り調査を実施する予定です。

危機対応時における 市長のリーダーシップは

議員 リーダーシップを発揮すべき立場にある市長にとって、最も重要な資質の一つが危機対応能力だと考えます。大阪府北部地震などの経験を生かして、引き続き災害対応や非常時対応に当たってほしいですが、市長の見解を伺います。

市長 大阪府北部地震などの災害対応を通じて得た教訓や課題を踏まえ、国土強靱化地域計画の策定をはじめ、公共施設のブロック塀の撤去など、防災施策の充実に努めてきました。一人の犠牲も出さないために、災害対策に終わりはないと

いうことを肝に銘じ、全庁一丸となって、市民の命を守る強じんなまちづくりを全力で推進していきます。

固定観念にとらわれない 情報発信を

議員 高槻の魅力発信につながる情報発信について、固定観念にとらわれない情報発信を期待しますが、今後の取り組みを伺います。

市長 今年度からは、プレスリリースの一斉配信サービスの利用を開始し、発信機会の拡大に取り組んでいます。一方で、ターゲットを絞り、驚きや楽しさを感じていただける情報を発信することも、効果的な手法であると考えています。

BOTTOたかつきのようにな本市の特徴的な魅力を掘り下げて伝えたり、オープンたかつきのように実際に本市の魅力に触れるなど、様々な手法を織り交ぜ、より多くの方に高槻の魅力に気付いていただけるよう、取り組みを進めていきます。